



高梁市の公共交通

平成30年11月

高梁市の公共交通は、市内を南北に走るＪＲ伯備線、そして地域を民間路線バスが走り、更にこれを補う形で、生活福祉バス、ふれあいタクシーを運行しています。

公共交通空白地を解消すべく、こうした公共交通体系を整備してまいりましたが、少子高齢化や自家用車の普及により、公共交通の利用者は年々減少しています。

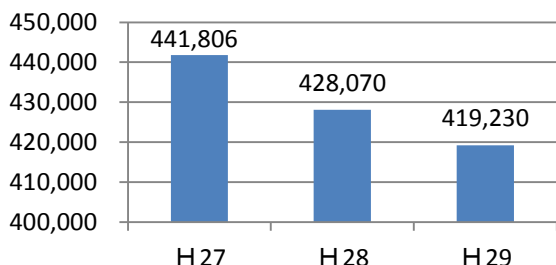
現在、本市の公共交通は、平成27年に策定した「高梁市地域公共交通網形成計画」等により、路線の変更やふれあいタクシーの導入等、高梁市地域公共交通会議において決定し実施してまいりました。

この「高梁市地域公共交通網形成計画」は、平成31年度までの計画期間であり、同年度中に次期計画を策定することとなっています。

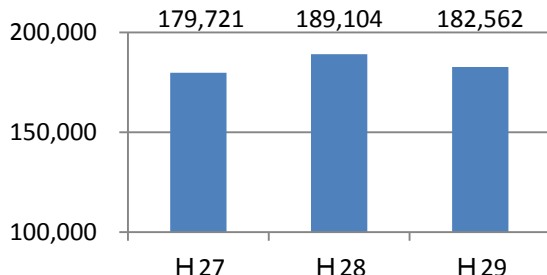
将来にわたり、持続可能な公共交通を構築するためにも、市民の皆様には現状をお知りいただき、そして皆様と一緒に考え、本市にとって最も有効な手段を整えていくことが重要と考えます。

●公共交通の現状(利用者・必要経費)

利用者(人)の推移



経費(千円)の推移



※１．利用者数は、路線バス、生活福祉バス、ふれあいタクシーの合計値
(路線バス利用者数は事業者聞取りによるもの)

※２．必要経費中、路線バスの経費は事業者に対する補助

【解説】

- ・利用者は年々、減少傾向にあります。これは人口減少が続いているうえ、少子高齢化による学生の減少や、もともと免許証を持たない高齢者の減少が要因として考えられます。また、運転免許証保持者数も高い水準にあるといえます。
- ・特に路線バスの利用者は、高校生等の通学利用者が大半を占めています。
- ・経費は利用人数が減少しているにもかかわらず、平均して約1億8千4百万円の支出が続いています。これは、市民一人当たり6千円弱の負担額となります。
- ・“利用人数が減るなか、経費はかかる”という、いわゆる赤字体質の状況が続いているといえます。

●目指す公共交通とは…

各地域に住み続け、快適な暮らしが実現されるよう多様な交通手段を結びつけた総合的な公共交通ネットワークの実現を目指す必要があります。

皆様に利用され、持続可能な公共交通体系を構築していくために、市民の皆様、お住まいの地域、行政がそれぞれの役割を持ち、“協働”による推進が重要と考えます。

※それぞれの役割とは…

① 市民の役割

- ・地域の公共交通に関心をもち、どのような公共交通が相応しいのかを考え行政や運行事業者意見や要望を届けます。
- ・地域の公共交通を積極的に利用します。

② 地域の役割

- ・市民の意見を取りまとめるとともに、行政と連携し、公共交通を維持していくという機運を高めます。
- ・地域自ら交通の利便性を向上させる方策を検討します。

③ 行政の役割

- ・効率的、効果的な公共交通を目指すべく、地域ニーズや地域の実情を総合的に判断し、運行事業者と連携し、利用しやすい交通手段を推進します。
- ・導入した交通手段に対し、利用促進を図るとともに利用率等から費用対効果について検証を行い、必要に応じた処遇を行います。

④ 事業者の役割

- ・安全・安心で確実な運行を行うとともに、ドライバーの指導・教育に努めます。

●今後の展開方針は…

①地域団体(まちづくり団体)等に対し公共交通の現状や今後の方針等の説明を行い、市民アンケートを行います。



②行政(市役所)は、アンケートの取りまとめや地域団体との協議により、地域ニーズや地域環境、地域の実情等の掘り起しを行い、計画に盛り込んでいきます。



③行政は、計画に基づき、地域、運行事業者等と連携し、公共交通施策を展開します。同時に、有効な交通手段となっているか検証を行います。

※①へ戻り、以降①～③を繰り返す。